

あったかい気持ちになりたい方へ

会員番号	ペンネーム	①本の題名	②どんな人に	③おすすめポイント
1575	匿名	「おいしいコーヒーのいれ方」村山由佳	いくつになっても胸キュンしたい人に	26年の歳月をかけて完成したラブストーリーです。 主人公の勝利（ジョーリ）とかれんが色々な困難を乗り越え、結ばれる過程にハラハラドキドキしながら、いつの間にかその世界に引きこまれてしまいます。 今、青春のまっ只中にいる人、ずいぶん前を通り過ぎてしまった人でも、もう一度、あの頃の気持ちに戻れます。もし、この作品がドラマ化、映画化されたらと妄想して配役を考えるのも楽しいです。
非会員	優秀賞 ひとみ	「ティラノサウルス」シリーズ 宮西達也 作・絵	絵本ですが、愛を忘れかけている人達へ	恐竜が主人公のこのシリーズは、あるラジオ番組で紹介され、本屋さんで見つけた時はその絵に度肝を抜かれました。 恐竜が主人公で恐そうだし、言葉使いも良いとは言えませんが、とにかく感動するし、涙のこぼれる場面もあります。 恐竜が主人公なのに、愛がいっぱいいっぱいだった内容なのです。 恐竜が主人公なのに、シリーズの題名がどれも恋愛小説みたいなんです。 主人公の恐竜さんや他の恐竜さんがきっと大好きになっちゃう本です。 愛を忘れかけている人、心がささくれてきている人、けんかばかりしている人、読んでほしいなア。
非会員	まあちゃん	「としょかんライオン」 ミシェル・ヌードセン作 ケビン・ホークス 絵 福本友美子 訳	あったかい気持ちになりたいときに 正しいこと何だろうと考えるときに	私がおススメする本はとしょかんライオンです。 おススメするところはライオンが図書館に入ってきたときから時間がたち、メリウエザーさんを助けようとするところです。はじめは、図書館にライオンがいてこわがる人もいました。 ライオンはとしょかんちょうが倒れてしまったときに本当は吠えてはいけけないのに「助けたい」という気持ちで吠えてしまいました。 「いくら図書館でも、ちゃんとしたわけがあるときはべつ」という言葉に、ライオンは戻って来るのかなと期待してしまいます。ライオンがいない図書館になるととても寂しくなります。登場人物それぞれの思いがあり、個性があり、この本はとてもドキドキしながら読め、あったかい気持ちになります。
非会員	からあげ大好き	「ムーンライト・シャドウ」吉本ばなな	恋愛小説が好きな方	この物語の主人公は、さつきという女性です。さつきは不幸なことに、長い間付き合っていた恋人を事故で亡くしてしまいます。さつきはひどくショックを受け、絶望的な日々を過ごしていました。ですが、ある日川のほとりで出会った、うららという女性の誘いにより、さつきは一瞬だけ亡くなった恋人と再会を果たすことができました。 おススメポイントについてですが、最後の恋人との再会シーンは感動させられます。本を読んでいて、二人がどれほど愛し合っていたのか計り知れるので、報われたような気持ちになります。また、恋人と再会するきっかけをくれたうららの優しさに胸を打たれます。うらはは主人公の抱えている辛さに気づいているので、何度も明るく励まそうとします。このように、うららだけでなく、他の登場人物もみな、主人公に対する思いやりが深いです。読んでいて温かな気持ちになれます。 ぜひ一度読んでみてほしいと思います。
8615	たっきー	「ないたあかおに」はまだひろすけ 文 いけだたつお 絵	優しい気持ちになりたい人	私は子どもの頃からこのお話を読むと涙が出てきます。何回読んでも涙が出てきます。子どもが生まれて大好きなお話だから読み聞かせてあげたいのにやっぱり途中で泣いてしまい、子どもが心配になるようです。 鬼と言えば悪さをするもの、皆に嫌われているもの、子どもを怖がらせるものなのに、登場する「あかおに」も「あおおに」も心がきれいすぎて眩しく感じます。「あおおに」は「あかおに」のために、お互いが幸せに過ごすための方法を模索します。その思いを知った「あかおに」の感情…心が浄化されていきます。 いつ読んでも気持ちを新たに、周りのことをよく見て、謙虚に生きていきたい、そんな風に思える一冊です。
9700	Wあるばか	「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」詩歩	コロナ禍で旅行に行けなくてウズウズしている方。 この本を読んで旅行に行った気分を味わったり、コロナが治まったら旅行に向く候補にしたり…。 また、ただただ癒されたい方へ。	溜息が出る程の美しい光景。世界はこんなにも美しいのだと思わされます。 全てとは言わないので、どれかお気に入りの場所に…死ぬまでに行きたい！！
13659	かえで	「舟を編む」三浦しをん	心温まるヒューマンドラマを読みたい人	中型国語辞典『大渡海』を新たに編集するため、辞書編集部に関わる人々が奮闘するお話です。 三浦しをんさんは、マイナーな分野に光を当て、情熱を持って取組む人々を描くのがとても上手。笑って泣ける心温まるヒューマンドラマです。大きな事件はなく、地道な作業をコツコツと進めていくのですが、ユニークなキャラクターが多く、作中での心の中のツッコミも面白く楽しく読めます。電車の中では読んじやだめ(笑)各登場人物の心の変遷が丁寧に描かれ、物語に深みと温かさで感動を与えてくれています。 普段余り注目されない辞書ですが、ものすごい手間と時間をかけて作られています。紙も、薄く裏書きせず、ぬめり感のある質感等にこだわって作られているらしく、思わず辞書を取り出しめくってみたいくなる事間違いなし。 普段意識しない物にも、それに関わって日々奮闘する人がいる。全ての物に繋がる事ですよね。
14201	読み書き堂	「森の教え、海の教え 辺境の旅から」芦原伸	旅は好きだけど実際に辺境に行くのは大変だな〜、という方。 日本各地の古い伝承や民俗に興味のある方。	北は北海道から南は沖縄、番外編のカナダまで、 辺境といっても観光地化されているところもありますが、いわゆる都会から離れた地域のことです。 著者が現地を訪れて、見た風景、会って話を聞いた人のこと、伝説や神話などを考察した本です。 絶滅したニホンオオカミなどの野生生物を含む森羅万象と共存してきた古い時代の日本人のくらしの姿を、「マタギが教えてくれたこと」「鯨が教えてくれたこと」など、山の教え九章、海の教え八章に分けてまとめています。 昔ながらの行事やなりわいを伝承していくことの意義を訴えながら、地域おこしで過疎地が注目されるようになった例もあって、面白く読めます。 本文中に、著者が調べた文献名も出てくるので、図書館で探してさらに深く知る楽しみもあると思います。自分で調べてみると、本で読んだエピソードとは印象が違っていたり、別の伝承もあることがわかって、歴史は奥が深いなと感じました。
非会員	なののはは	「ライオンのおやつ」小川糸	穏やかな気持ちに包みたい方へ	病にかかり、最後の時を家庭ではなくホスピスで迎える選択をした若い女性の物語です。題名に疑問を感じましたが、ホスピス名が「ライオンの家」でした。 余命わずかな人々が食事以外に楽しみにしているのが、リクエストにより提供される「おやつ」です。「おやつ」は身体維持に必要なではありませんが、心の栄養であり、個々のエピソードが詰まった思い出でもあります。 この作品は情景描写が丁寧に、読後穏やかな気持ちに包まれます。自然の風景、会話のテンポ、主人公に寄り添う犬の表情までもが、心に響きます。今年ドラマ化されましたが、やはり活字で読み進める楽しさは映像以上です。 皆さんも、細やかな情景描写を自分なりの解釈で読みとっては如何でしょうか。読みやすい、ほっとできる一冊です。

これからを生きる君たちへ

会員番号	ペンネーム	①本の題名	②どんな人に	③おすすめポイント
8615	びぼちゃん賞 たっきー	「ぼく モグラ キツネ 馬」 チャーリー・マッケジー著 川村 元気訳	思春期の子どもたちへ	多感な時期はいろいろ悩んでいると思います。自分の中から生まれてくる疑問や不安のようなものを解消してくれるような、そんな1冊だと思います。 いちばんの時間のむだってなんだとおもう？ …じぶんをだれかとくらべることだね じぶんにやさしくすることがいちばんのやさしさなんだ 人生はむずかしい。でも、きみはたしかに愛されているよ この世界にはきみにしかできないことがある それでも世界は、想像もできないほどの愛にあふれている
10003	びぼちゃん賞 とまとも	「ユウキ」伊藤遊 作 上出慎也 画	友人関係に悩んだ経験がある高学 年以上のこどもたちへ、または、 そのぐらいの子供をもつ大人にも おすすめしたいです	内容は、主人公が、なぜか今まで、『ユウキ』という名前の子とばかり仲良くなってきたという話から広がるのですが、『ユウキ』は、なぜか転校してきて、短いスパンでまたいなくなってしまう子ばかり。6年生の主人公にとっては、せっかく出来た友人がすぐに引越してしまうという、なんとも言葉には表現できないような気持ちになっている部分が、濃厚に感じられました。 私自身、様々なジャンルの本を読んできましたが、児童書で、このような気持ちにさせられるとは、と感じるほど、少し涙ぐむようなシーンもありました。 特に、女の子の『ユウキ』が現れた時に、新しい環境に馴染むために、あるアピールをするのですが、それにより、プーイングを浴びたり、孤立してしまったり、大人になっても起こりえるものかと思いましたし、難しい問題かと思いました。 本を通して、様々な人物の心情を経験することで、人への思いやりへ繋がる気がしています。
10222	ひろさん	「空想教室」植松努	これからの未来を担う人へ	植松さんの語りかけの文体が、経験が何度もジーンとさせました。 今からでも決して遅くはないけど、もっと早くこの本に出会いたかった！ できるかできないかではなく、やりたいかやりたくないかで考えてみよう。 今の自分をみて未来の自分を決めないようにしよう。 だったらこうしてみたら？と考えることで道がきつと拓かれる。 好きなことをやり続けて、夢が仕事になって、今もお新たな夢を追いかけている。 こんな植松さんみたいな人が溢れたら、日本はもっと良く変わるのかもしれないですね。
11230	えみちゃん	「にげた！」宇治勲	様々な悩みに苦しんでいる子ども たち	私はこの絵本を、様々な悩みに苦しんでいる子どもたちに薦めたいです。どうしようもないつらさに、生きることを諦めてしまう前に、読んでみてほしいです。 この絵本のタイトルである、「にげた」という言葉だけを思い浮かべると、弱くて悪いことのように思えるかもしれませんが、しかし、この絵本を読み終わったとき、まるで逆の意味のように思えてくるでしょう。 この絵本では、様々な生き物が、活き活きと逃げています。美しく、力強く逃げています。また、1ページ1ページが、まるで絵画のような美しさで描かれているのも、絵本ならではの魅力です。「あしたがあるから」に続く「にげている」という最後のページは、言葉で言い表せないかっこよさです。登ったばかりのキラキラした朝日を後光にし、こちらを見つめるインバラの強い眼差し。「逃げるってかっこ悪いことじゃない。生きるために逃けているんだ」と、語りかけてくるようです。
11571	コロぼん	「ポッコちゃん」星新一	小学生、中学生、本をあまり読ん だことのない人へ	今でも載っているのでしょうか？私は学校の教科書で初めて星新一を知りました。 ショートショート集なので読みやすいです。ここからハマリ、弟と一緒に星新一の文庫本を揃えていました。 中でも強烈な印象だったのが「おーい でてこーい」という一編。今読んでも、時代を先取りしていたのだな、と少しヒヤリとした気持ちにさせられます。 座廃、原発、そんなことが浮かびます。 難しい表現を使っていないので、あとで余計に怖くなりますよ。スマートな後味の悪さとも言え良いかもしれません。 この1冊から読書が広がっていったので、頭の何処かにはしまっておりすね。 何を読んだら良いか分からない人も面白いと思います。
14535	ねこぼす	「Re:ゼロから始める異世界生 活」長月達平	本を読まない中学生	何度失敗してもトライする所
14812	naobooks	「おかネの教室」高井浩章	次世代を担う学生すべて お金が苦手な大人	【あらすじ】 中学2年生で平凡の男の子と地元で有名な大富豪で容姿端麗の女の子の2人が、「そろばん勘定クラブ」という時代遅れのクラブ活動で、癖のある顧問から「お金」と「仕事」についての課題を与えられた。生徒たち自ら考え、結論を出し、顧問との意見交換を通じて、現代の経済を学んでいく金融学園小説です。 【オススメ部分】 本書は、楽しくて、分かりやすく金融について学ぶことができました。 私も、教養として金融関連の書物に手を出すことを何度か試みましたが、難易度が高く読了ができない物ばかりでした。しかし、本書は金融について苦手な私でも、金融知識を理解できたこと、スラスラと楽しい気持ちで読了できたのは、非常に有益でした。 経済と日常生活は、一生涯すべての人が共にすることになるので、本書をきっかけにお金に興味を持ち、金融教養を身につけていけば、人生がより豊かになることは間違いのないと思います。そして来年度から、義務教育になる金融教育を先取りして、ぜひ金融入門編として一読してみてはいかがでしょうか。
非会員	優秀賞 ひとみ	「グリックの冒険」斎藤惇夫	これから大人になる中・高生へ	この本は、もうだいぶ前に出版された物です。私は、あまり本を読む子供ではありませんでしたが、この本には、とても感動し、60才を過ぎた今でも心に残る1冊です。 小さなシマリスのグリックは、姉フラックと一緒に飼い主の家のカゴの中で暮らしていましたが、伝書鳩のビッポーから、北の森の話聞くうちに、大自然の中にある本当の自分の家に帰りたと思い始めます。なんとか、その家を逃げ出しますが、途中本当に数々の困難にあいます。でもそのたびに、出会ったメスリスののんのんやビッポー、運にもめぐまれて、もうだめかと思えるなか、なんとか北の森に帰りつきます。そこには、ものすごい数のシマリスが、2人を待っていてくれました。感動まちななしです。
非会員	卵に夢中♡	「枕草子 清少納言」山口仲美	学生	この本のおススメポイントは、読みやすくて共感できる内容が多い所です。「枕草子」は、千年ほど前の作品だから内容が理解できなさそうだと思う人もいるかもしれません。ですが、この本は清少納言の日記をのぞいているかのようにとても面白いです。例えば清少納言は、「説教してくれるお坊さんは、やっぱり顔がよくなくっちゃ。美男のお坊さんの顔をじっと見つめていてこそ、説教のありがたみもあるというものよ」と大胆に言い切っています。このような所から、清少納言って面白いだったのか！と新たな発見があったりもします。さらに、「枕草子」は教科書に出るので勉強に役立ちます。こういった点で、学生におすすめしたいと思って紹介文を書きましたが、もちろん学生じゃなくてもおすすめです!! この本は、幅広い年齢層に対応することのできる優れものです。親しみやすさが感じられますし、ぜひ読んでみてください。
非会員	zoe	「少年探偵シリーズ全26巻」江戸 川乱歩	読書しようとイザ本に目を向ける と睡魔が襲って来て読書にならない 中学生におススメ	表現が分かり易く主人公が少年で夢の様な活躍のもと悪人に立ち向かう爽快感が読者を引きつけます。
非会員	サザエさん	「光の塔」中村啓子	日本の宝たちに	未来から現在をみることができる本。光の塔の前に同じ著者の「トラファラ」読んだ。 中村啓子さんにはお逢いしたことないけどなんだか魂が熱くなりました。「光の塔」は絵本みたいで解りやすくおすすめです。ぜひ読んでいただいてみなさまにも未来から現在を見ることができるようになっていただきたく応募しました。

悲しみが消えない方へ

健康が気になる方へ

会員番号	ペンネーム	①本の題名	②どんな人に	③おすすめポイント
14201	PIPO特別賞 読み書き堂	「ボボリン」 きむらしょうへい 作	大切な人を亡くした悲しみを胸の奥に秘めたまま生きている人へ	古本屋で見つけた『わたしの絵本体験』という本の中で紹介されていた絵本です。もう新刊書店では手に入らないようなので、図書館などで探してみてください。 幼くして母を亡くしたボボリンという少女が、星になったお母さんに会えるかもしれないと、険しい山を登っていきます。 すると風の神ペアテが現れて、ボボリンの姿を風に変え、死んだひとのくにや生まれかわった人の国を案内していくというお話です。 ボボリンはお母さんに会うことができるでしょうか？ 赤と緑などの強い色使いや、動物などをデフォルメした表現に、好き嫌いがわかれるかもしれませんが、原始的な生命エネルギーを感じる絵だと思います。 わたし自身、5歳で母親と死に別れましたので、ボボリンの気持ちはよくわかります。もっと早く、例えば思春期にこの絵本と出会っていれば、母との死別について、ちがう受け止めかたができたかもしれないと感じました。 大切な人を亡くした悲しみにふたをするのではなく、亡き人の魂を感じられれば、この世界がずっと美しく見えるということなのかな、と思います。
非会員	鼓狸	「さよならも言えないうちに」 川口俊和	悔い、悲しみを今も持ち続けている方へ	シリーズ四作目。オムニバス形式です。 前三作と題は違っていますが、流れている雰囲気は同じで、繰り返し読んだ後も、もっと続きに出会いたい本です。 過去のあの時に戻ってみようか、迷っている客…。喫茶フニクリフニクラの扉を開けた。少し面倒なルールがあるものの、「コーヒーが冷めないうちに…」の儀式のあと、湯気と共に広がる過去のアノ時。アノ時ナニがあったのか？君は何を思っていたのか？自分はどうしたかったのか？ 冷え切ってしまう前にコーヒーを飲み干して、座っていたソファで現実に戻った時の安堵感、開放感…。 戻ってみようか？戻れることさえ疑っていた少し前と変わり、せつなさはあるものの、ほどけた言葉不足や誤解。とは云え、現在や、これから変わる事は決してない。でも今までと違う心で生きてゆける。前向きに。 自分も含めて、一つや二つ、悲しみ、悔い、怒りの感情を持ち続け、引きずっている人も多いはず。もし、この喫茶フニクリフニクラが在ったなら、自分はいつの悔いに会いに行くのだろう。濁りのない涙で終われるのだろうか。 啓蒙を受ける本、転開を楽しめる本…これは浸透できる本だと、思いました。
5652	大口ひろし	「医者の大罪」 近藤誠	健康が心配な人	私たちはどうしても医師の言うことを真にうけてしまう。それは医師という職業が社会的評価が高く、高度な医療知識と臨床経験、そして人格を備えた人物であると尊敬と信頼をよせているからである。ところが私たちが信ずることとは真逆の一種の殺人のような行為が横行している。無意味な治療を遠ざけ、ダメな医者の手にかかることなく、元気に長生きするための方法を指摘する本である。以下におすすめのポイントを要約する。 （１） 高血圧の治療だけで、毎年健康な数万人が副作用で亡くなっている。 （２） コレステロールは高い人の方が長生きする。 （３） 健診は健康な人を病人に仕立て上げ、薬や手術の対象とする「国家装置」の一部である。 （４） ノーベル賞の免疫療法剤オプジーボはがん治療に効果なし。
5652	大口ひろし	「新型コロナの大誤解」 西村秀一	新型コロナが心配な人	ウイルス疾患の研究者が、新型コロナウイルスの特徴や対策に関する誤解を詳しく指摘している。精神的にも実生活の上でも不自由な境遇に追い込まれている人たちにとって、自分を解放する手助けになる本だと思う。以下におすすめのポイントを列記する。 （１） 新型コロナは空気感染である。何より換気が大事。 （２） 手洗いよりもうがいの方が大切。こまめに緑茶を飲む。 （３） PCR検査はやみくもに多くの人にすればよいというものではない。 （４） 不織布マスクは一般の人の日常生活なら十分な性能を持っている。 ゼロリスクを求めたら、すべての生活から逃げなくてはならなくなる。新型コロナウィルスとは今後もつき合っていくことになるので、一時の過剰な恐怖に流され、必要のないことまでやるのは愚かなことである。
非会員	eSora	「ブレインメンタル強化大全」 樺沢紫苑	体に不調がある人 今よりも元気に健康に暮らしたい人 幸せになりたい人 朝活をしたい人	生活習慣の改善で、こんなにも「生活の質」が上がるものなのかと体感出来る本です。この本には病気を予防し、心と脳のパフォーマンスをあげる習慣が紹介されています。科学的根拠に基づいて書かれている為、説得力があります。 病気を予防する6項目(睡眠、運動、食事、禁煙、節酒、ストレス発散)について、やるべき事から順に、具体的な数値と共に書いてありますので、取り組みやすいのも特徴です。 私はこの本を読んでから、朝起きてすぐ朝日を浴びながらラジオ体操を始めました。睡眠にもこだわるようになり、その結果、「心身健やかに過ごせている」と感じる事が増えてきました。今では夜中に暗闇でスマホをいじりながらお菓子を食べる生活とおさらばし、朝の自分だけの時間を楽しんでいます。朝日を浴びる気持ちよさ、是非皆さまにも体感していただきたいです！
非会員	あいん	「わすれられないおくりもの」 スーザン・パーレイ 作・絵 小川仁央 訳	大事な人がなくなった人や病気の人、その側にいる人	わたしがおすすめする理由は「人はなくなるのではなく心で生き始めること」がわかったからです。 わたしのおススメ場面は「ベッドの中でモグラはアナグマのことばかり考えていました。」…「その夜、雪がふりました。冬がはじまったのです。」…「雪は地上をすっかりおおいました。けれども、心の中の悲しみを、おおいかくしてはくれません」 でも気づきます。「みんなだれにも、なにかしら、アナグマとの思い出がありました。…アナグマは別れたあとでも、たからものとなるような、ちえやくふうを残してくれたのです。」 人には必ずいいところがあり、話し合って仲良くなっていける、それは宝物になる、そんなことが身にしみてわかる一冊です。

お子さま・子育て中の方へ

会員番号	ペンネーム	①本の題名	②どんな人に	③おすすめポイント
7884	コロコロ	「とにもかくにもごはん」小野寺史宜	子ども食堂に興味がある人にもない人にも、いろいろな人に。	子ども食堂を舞台にした連作短編集です。突然事故死した夫が生前言っていたことをきっかけにして、こども食堂を始めた女性、ボランティアで働く人たち、ごはんを食べに来た子供たちと親、近所の老人・・・それぞれの事情がえがかれます。悪い人は出てこなくて、ちょっとほっこりしたり、うるっときたり。最後の部分で、安心することがあって（ネタバレになるので書けません）読んで良かったと思える本です。私もだれかのために何かできることがあるのでは、と気づくことができました。子供たちや子供たちを取り巻く環境について、地域の一員として考えていけたらとも思いました。子供の貧困や虐待など、いろいろな問題がありますが、今より少しでも良い社会に変わってほしいです。
10980	匿名	「HSCの子育てハッピーアドバイス HSC=ひといちばい敏感な子」明橋大二	子育てで悩んでいる方に	特に子育てで悩んでいる方に読んでほしいです。私自身も子育てに悩んでいて、例えば赤ちゃんの頃息子の夜泣きがひどく、やっと寝たと思い、抱っこから布団におろすと背中スイッチが作動してまた寝かしつけの繰り返しの日々。他にも様々な場面で繊細で敏感な子だな〜と育てにくさを感じていました。生まれ持ったこのような気質の子がいるということを知りやすく漫画で書かれており、読みながらうんうん！まさに息子だ！と共感して腑に落ち、自分の育て方で敏感な子になったわけではないんだ、また5人に1人もいるんだと安心しました。また事例に対するアドバイスも分かりやすく載っているので、今後の参考にもなと思います。同じ悩みを持っている子育て中の方、また教育者の方にもぜひ読んでいただきたい1冊です。
11556	りんご	「スタンフォード大に三人の息子を合格させた50の教育法」アグネス・チャン	子育てに悩んでいる人 男の子のママ	今年、三男を出産し、三兄弟の母となりました。三人目はできれば女の子希望でしたが性別は男の子と判明！ まわりからは、大変になるね〜と言われたり、私に男の子三人も育てられるかな…とネガティブになっていた時に出会った本です。題名に教育法とありますが、勉強についてだけではなく、子育てで大切にされてきたことが書いてあります。 全編を通して、アグネスさんがしっかりと一人一人のお子さんと向き合い、育ててくれたことがよくわかり、とても刺激を受けました。お忙しいのに、本当に愛情たっぷりだし、いつも楽しもうという姿勢、見習いたいところがたくさんありました。 特に、反抗期がなかったという息子さんたち！姉妹で育った私にとって、男の子の反抗期は不安しかないので、励まされました。思春期のアドバイスは、まだ先の話ですが、参考にしようと思います。男の子育児、この先長いですが、悩んだ時などに繰り返し読み返して、前向きに楽しんでいこうと思います。
14288	しーママ	「しんごうきピコリ」ザ・キャビンカンパニー	1〜6歳位のお子様	我が家の2歳と6歳の子どもたちが大好きで「これ読んで！」と持ってくるのがこちらの本です。 信号機があか、あお、みどりにピコリ！と点灯し、おしゃべりなバトカーが信号の意味を教えてくれる…というお話です。信号機はなんと、きみどりやピンク等も！奇想天外で思わず笑ってしまいます。言葉のリズムも良く、絵本嫌いな6歳児もこの本はお気に入りです。 作者は男女のユニットで、由布市の廃校をアトリエに改装し活動されています。既成概念に囚われないちょっとシュールでのびのびとしたイラストレーションは、親の自分も読んでいて楽しく、子どものころの自由な発想を思い出させてくれました。 愛知県は住みよい土地ですが、交通事故死者数ワースト1という悲しい面もあります。 子どもを事故から守るためにも、このような絵本を通して交通ルールを教えたいと思っています。みずいろは逆立ち！などと、ちょっぴりおかしなルールもありますが。
非会員	はま子	「子どもの心を強くする すごい声かけ」足立啓美	学校、受験、友達関係等で悩んでいるお子様を持つ親御さん。また悩みを抱えてる方	子供がどのようなことで悩みやすいのかを知り、それを認めて受け入れポジティブに変えていく方法や、自分を大切にするセルフコンパッションの方法がいくつかの具体的な実例も交えて書かれており、子供の心を強くする方法がすぐわかりやすく書かれている。 親自身が知らず知らずに子供にしている声かけや口癖（だから言ったでしょ等）が、実は子供の心に良くないことなんだと気付かされた。 また、子供だけでなく自分自身の心も強くするのに役立つと感じた。 コロナもあり、日常生活が制限されて心が弱っている方々に是非読んでほしい1冊です。
非会員	みささち	「あなたのことがだいすき」えがしらみちこ 文・絵 西原理恵子 原案	子をもつ全てのお母さん、お父さん	この本を出産祝いで頂きました。初めて読んだ時は「素敵な、かわいい絵本だな」とシンプルな感想を抱きました。しかし、子どもと過ごす時間を重ねるたび、この絵本の言葉がどんどん胸に響く様になってきました。 イヤイヤ期真っ最中の我が子。やっとの思いで寝かしつけ、家を見ると、ぐちゃぐちゃ…。どうしたらいいの、そう思った時にふと絵本を思い出して読むと、涙が止まりませんでした。その日は全ての家事を放り出し、天使の寝顔を見ながら、小さな手を握り一緒に寝ました。子育てを大変、辛いと思うことは必ずあると思いますが、この本を見ると、我が子を初めて抱っこした時の感動と愛おしさを思い出せてくれます。 可愛いタッチの絵に癒されますし、文字も少なくあっという間に読めてしまうので、忙しいママさんにもぜひおすすめしたいです。

新しい自分を見つけた方へ

会員番号	ペンネーム	①本の題名	②どんな人に	③おすすめポイント
34	usagi0204	「自分のまわりにいいことがいっぱい起こる本『幸運』は偶然ではありません。」 原田真裕美	自己肯定感の低い人	Chapter3「恋愛」がうまくいく人は、この「関係」をしています Rule8 周囲の大反対にあってしまう恋に少しでも不安があるなら、すぐやめるべきです の中に、きっぱりと書かれた言葉を読んで、眞子様を思い出しました。 「ただ周囲への反骨精神や、自分の決断を正当化するためだけに、頑固に自分に悪影響を及ぼす恋愛にしがみつくのはよくありません。」と書かれていました。眞子様が今、幸せなのか、少し、心配です。 この本の中には、魂という言葉がたくさん出てきます。自分の魂の純度を上げることで、同じ純度の高い魂を持った人と出会うようです。 そして、私の一番大好きな言葉が書かれています。 「どんな運命も、意志には勝てません」という言葉です。強い意志こそが自分の人生を造っていくのだと感じました。 魂について、出会いについて、仕事について、恋愛について、お金について、どんどんいいことが起こる「自分」について、たくさん感動する言葉があります。おすすめです。
10222	PIPO特別賞 ひろさん	「マイノリティデザイン」 澤田智洋	自分たちの弱さに向き合いたいあなたへ	あなたが苦手な競技があったとします。苦手を克服するために猛特訓をするか。 それとも、自分がプレーしやすいようにルール変更を要請するか。どちらを選びますか？ これまでの社会では前者の選択肢をとることが美德とされ、賞賛されてきました。 ですが、時代は変わりつつあるようです。これはコピーライターでもある著者の澤田さんが視覚障害の息子をもったことをきっかけに、「マイノリティデザイン」の考えをとりいれていく後者の話です。 それぞれ人は何らかの弱者やマイノリティであり、その超個人的な悩みは社会をよりよくする伸びしろ、だと考えます。 自分がこれまでに感じてきた「弱み」を、もしくは大切な"あの人"の「悩み」を丁寧に両手ですくいあげる。 それを無理に克服するのではなく、社会の仕組みやルールを変える方法を考えてみる。 できないものを持っている弱者が、価値を生み出す強者になる。 そんな世界、良くないですか？
10222	ひろさん	「自己肯定感、持っていますか？」 水島広子	自己肯定感が低いと、思っているひと	自己肯定感（ありのままの自分をこれでよいと思える気持ち）を高めよう、と思うと、どうしても「自分の好きなところを見つけよう」「もっと自分の感覚に正直になろう」など、自分を中心としたアプローチになりがちではないでしょうか。 でも、著者の勧めるやり方は少し違います。 初対面からこの人はこんな人かな？とか評価したり決めつけたりしていたのを「なるほど」に変えて、先ずは他人のありのままを受け入れるようにします。 そうしていると、自分のことも「ありのまま」受け入れられるようになっていく、と説きます。 この本を最初に手にした2年前から少しずつですが意識してきました。 その内、今まで人と接すると相手の気持ちばかりが気になって苦しかった感覚が和らいできました。 自分の気持ちを大切にできるようになりたい、と思う人にお勧めできる一冊です。
13659	かえで	「ふだんの美文字」 りさ	向上心のある人、字をきれいにしたい人に	コロナ禍でうち時間の増えた昨今、何か勉強したい、自分のスキルをアップさせたいと思っている人も多いのではないのでしょうか？そんな方におススメなのがこの本。 ペン字の本は色々ありますが、好みの字でないとやる気が出ないですよね。りさんの字は、優美で優しい印象。丁寧だけど、固くない、大人っぽく可愛らしさも含んだ字なんです。 小学校から中学まで習字を習いましたが、真似は上手くなっても、自分の素の字はあまりきれいじゃないまま…。こんな大人の字が書けるようになりたいなと、久しぶりにペン字に取り組みました。 私が字の練習をしていたら、子供も真似して漢字の宿題を丁寧に書くようになったのが嬉しい副産物でした。子供の字が雑なのが気になっている方、言って聞かせるよりやって見せるですよ。習字は筆記具と紙さえあれば手軽に出来ます。皆さんも始めてみませんか？
非会員	さすらいの	「安全な妄想」 長嶋有	自分を出すのが上手でない人	「猛スピードで母は」などの著者でもある長嶋有さんのエッセイ集です。 出版社から送られてくる、要らない健康茶に対してのやりとりや、ジャパネットたかたに対する考察など、本当にどうでもいい話ばかりですが、この作者の物事に対する姿勢が普段自分を出すのが上手でない人（少し昔の私も含む）にとって、勇気をもらえる内容なのです。 この本の中で一番好きなのは、「あたたか〜い」です。自動販売機の「あたたか〜い」は、何故、少しでも暖かい日が続くとすぐに「つめた〜い」になってしまうのか。と言う訴えから、授業中に自販機の切り替えを察知して"いけない!"と教室を飛び出す女子高生の描写、その後に続く、作者が昔働いていたパン屋の店長の、ある一人のお客に対する本人が気づいていないであろう親切の話。これは椎名誠の短編集「蚊」の中の"山田の犬"の山田に感じた強さと似ていて好きです。
非会員	ゆうと	「はだかの王様 億万長者がすべて失ってわかった絶対にやってはいけない42のこと」 与沢翼	仕事や人生で成長・成功したい人	失敗体験を知ることがなぜいいか？ 最初から「これをやると失敗する」がわかっていたら、無駄に失敗したり、その失敗で落ち込んだりすることを避けていく事ができる。 この本を読むと、普段の考え方から変えておくことが大切で、中には「それ私の考え方だ!」と、自分にあてはまる失敗例の考え方がわんさかありました。 例えば『好奇心旺盛ではいけない』 「え？好奇心はあった方がいいんじゃないの？」って思いませんか？ 私もそう思って読み進めると、なるほど。 抑えることが必要な好奇心もあるんだと、普段常識だと思っている事と反対の事を知ることができるので、ためにもなるし、新しい発見ができて面白い本でもあります。 成功体験の本はいくらでもあるけど、 失敗体験の本はなかなか無いので、 仕事や勉強、新しいスタートをきろうとしている人に読んでもらいたいです。

色々なことに興味がある方へ

会員番号	ペンネーム	①本の題名	②どんな人に	③おすすめポイント
5652	大口ひろし	「人生は「2周目」からが面白い」 齋藤孝	中高年の方	人生の一週目を50才までとすると、二周目がそこから始まる。社会的な役割を一通り終えたのだから、二周目こそ本来の人生をおう歌させる宝の時間である。一周目でし忘れたことを自分なりに追求することが二周目である。50才中ばを過ぎると人生の終点が見えてくる。お金、人とのつきあいなどは若いころの価値観を変えて生きること。知的向上感の育て方など、新しい発見と可能性が広がるヒントが書かれている。
11765	めー	「科学がつきとめた「運のいい人」」 中野信子	最近ついてないなぁと感じているひとに。	中野信子さんはテレビ番組などのメディアで活躍されている著名な医学博士ですが、その著書は難しい言葉も多々あるとは言え、専門の知識がない人にもとても読みやすいと思います。某テレビ番組では落ち着いた優しい口調で司会者と交わす会話がとても興味深いです。コロナ禍の現在、私自身も含め、生活を制限されることが多く生活が変わってしまったり、仕事などの不安定さからしんどいと感じながら暮らしておられるひとでも大勢いると思います。 実はこの本、あっという間に読み終えてしまったのですが、自分の心癖や落ち込みを振り返ることもでき、これから将来のこともなんだか明るい気持ちで想像したり出来ました。一番響いたのは、今の自分自身を生かすということ。ひとはとかく自分を良くするために変えよう変えようとしがちですが、そのままの自分を大切にすること。ちまたで運が良いとか悪いとかよく話題になりますが、少し視点を変え、自分の行動や考え方、物事の捉え方を科学的に分析してみるのも面白いかもしれません。
14192	ミー	「みちづれの猫」 唯川恵	猫好きの人・猫を飼ったことがある人	私は猫が好きで題名に「猫」とつく本は思わず手に取ってしまいます。「みちづれの猫」もその中の一冊です。猫にまつわる7つの短編からなり、じんわりと温かい気持ちになります。猫の模様や猫の仕草の描写は頭の中でその猫の姿をくっきりと浮かび上がらせてくれます。そして、猫を飼ったことがある人はきっと分かる分かつと頷く場面があるはずです。「ミャアの通り道」という話では猫のミャアが通れるように家族みんな部屋のドアを少し開けています。その隙間はミャアがいなければなかったもの。家族にとってかけがえのないものになります。最後に「約束の橋」という話の猫好きには納得の一節を紹介します。「猫好きは、すべての猫を好きになる。美しかろうが薄汚れていようが、雑種であろうが、血統書付きであろうが、他人の猫であろうが、決して懐いてくれない猫であろうが、関係ない。すべてが愛おしく、すべて心躍る。もう、猫のいない人生なんて考えられない」
非会員	カーブ女子	「1リットルの涙」 木藤亜也	パラリンピックをみて何か少しでも感じたことがあったすべての人	「先生、私結婚できる？」病気をあえていどわかっていても、それでも年頃の少女は結婚を夢見ていました。
非会員	カーブ女子	「いのちのハードル」 木藤潮香	パラリンピックをみて何か少しでも感じたことがあったすべての人	母として旅立つ娘との生活をことこまかく書いてあって、涙なしでは読めません。
非会員	PIPO大賞 下山のハナさん	「カボチャを塩で煮る」 牧野伊三夫 絵と文	料理を作るのが飽きた時、また面倒な人におススメします。	著者は子供のころ、甘辛く煮たカボチャが苦手だった。大人になってもずっと敬遠していたが、八百屋のおばさんに「塩だけで煮てごらん」と勧められる。牧野氏は鍋に付きっ切りで鍋の音の変化を察知して、カボチャをおいしく仕上げるのである。 レシピの数々は、平凡であるが、一工夫も二工夫もされている。 牧野氏は画家であるが、起きているときは、今日は何を食べるかで頭がいっぱいである。 食卓の傍らには一年中、七輪を置き、毎日その上で、めざしを焼き、食パンを焼く。 安いパンでも香ばしくなる。酒の燗ももちろん七輪で。 簡素な部屋でも、七輪の炭火の料理は何よりの贅沢である。 この本は、「食いしん坊画家」が如何に生まれたか、その歴史もさりとふれているが、墨で描いたように見える挿絵が、文章を引き立たせている。 客に対しても、散歩をさせて風呂屋に行かせて、充分に腹を空かせてから食卓に着くことを求めるのである。 楽しい食卓には、常に炭火が熾っている。ある意味、炭火が主役の食卓である。 「毎日をていねいに生きる」と口で言うのはたやすいが、実行するには下準備と心が大切である。さりげなさそうでいて、日々努力を積み重ねる著者の姿が勇気を与えてくれる。
非会員	腕が痛いねこ	「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」 プレイディみかこ	LGBT、人種差別など人との違いって？多様性って？考えてみたい方に！	イギリスで暮らす著者の母ちゃんが中1の息子くんの学校生活を綴った実話。 イギリスはもともと英国階級で格差がハッキリしている中、近年移民や貧富の差、LGBTでますます差別が複雑化している。 11歳の息子くんが様々な体験に対し、真摯に向き合いハッとさせられる。中1男子らしく可愛らしい反抗期（？）の場面もあったり楽しく読めました。
非会員	下山のハナさん	「ダダダダ菜園記」 伊藤礼	毎日が暇でたまらない、人生がむなしと感じている人におススメします。	「ダダダダ菜園記」の著者は、東京に住む英文学者で、サイクリスト（自転車愛好家）でエッセイストです。住居の庭に畑を作り、毎日食堂から、畑の生育状況をつぶさに観察するのですが、80歳を超えても、アクティブで研究熱心な著者は、自転車に乗って、他の農場の視察をしたり、耕耘機を購入したりします。耕耘機を購入して、届くのを待ち焦がれていたくせに、いざ手に入れると車庫に入れたまま3年も使用しない屈折した心境や、ついに始動をして、その小さな耕耘機の威力に驚き、近所迷惑な騒音を「ダダダダダダダ、、、、」と30文字以上も使って表現するのである。 庭を耕して作った畑を農場と名付けて、東・中・西農場と3区分に分けるのであるが、総面積は13m×3mの大きさで、つまり猫の額といえるのである。 茄子の葉っぱの穴の考察、クワイがこの世で一番旨いと思うのに、何故、正月しかないのか？これは何かの陰謀ではないか？ならば自分で栽培するぞと、タライを4つも購入して庭に設置してしまう。晩秋、クワイは収穫できたが、夏場のクワイの水やりでかさんだ水道代の請求書を見てため息をつく。 ひとつの物事を考察しているうちに、話はどんどん脇道にずれていく。その面白さは、落語の小三治師匠の「まくら」に通じるところなのである。

自分を変えたいと思っている方へ

会員番号	ペンネーム	①本の題名	②どんな人に	③おすすめポイント
1575	匿名	「ひとりで生きる」堀文子	ポジティブに生きていこうと思っている人に	あなたは『堀文子』という画家を知っていますか？ 『徹子の部屋』に飾ってある青い衣装を着た、黒柳徹子さんがモデルの"アフガンの王女"。あの絵を描いた人・・・それが堀文子さんです。 彼女は2年前に100歳で亡くなりましたが、"群れない、慣れない、頼らない"をモットーにして、どの会派にも属さず、自由に世界を回り、たくさん作品を残しました。彼女の生きてきた道のりを知れば知るほど、その魅力的な人間性に惹かれます。彼女が残した物は絵画のみならず、心に響く言葉も共に輝いて読む者に迫ってきます。例えば選暦を過ぎて、これからの生き方に悩み迷ってる私達にも、とても分かりやすい言葉で背中を押してくれます。いつも自分の手元に置いて、迷った時の道しるべとして、大切にしたい1冊です。
6528	ばんだくん	「樹木希林120の遺言 死ぬときぐらい好きにさせてよ」樹木希林	何かしらの悩みをもつ全ての人に。生きづらさ、不安を感じている人に。	この1冊の中に今を生きる全ての人への励ましのような、道筋のようなものが詰まっています。 仕事で悩んでいる人、恋人、友人、病気、子育て、全てにおいて響きます。樹木希林さんという方の生き様が、はっきりと見えるような1冊。名言集とは違いますが希林さんの生きることについて多くを求めない姿勢とか、人に対する想いと読んでいて「なるほどな〜」と自分の心に落ちていたものが、ずっと溶けていく感じがします。 今は本当に生きづらい毎日で、ほとんどの人が何かしらに悩んでいる現代です。1冊、読み終えた時に何とも言われぬ前向きさを感じることが出来るのではないのでしょうか。 波乱万丈の彼女の人生には、後悔が無く病も仕事も女性としても楽しんでます。 「人間って存在そのものが滑稽で、それでいてかわいくて悲しいもの」というワンフレーズが好きです。皆、もっと自分を「かわいがって」大切に愛して生きましょう！（行きましょう！）
9496	匿名	「未来」 湊かなえ	今大変な時期を通っている方、将来に不安を抱えている全ての方へ	四人のメインの登場人物で描かれた4部構成の小説。 四人に共通するのが「ドリームランド」。全く違う背景を持つ人達が「夢の国」に憧れ、その場所を目指すお話。 ある人はその場所に行き、ある人は行くことが無いまま亡くなったりと読み進めて行く中で、誰も想像しなかった結末が時制を前後しながら迎える。 人は誰でも墓場まで持って行く物語を少なくとも1つは持っているのかもしれない。でも心の何処かで誰かとシェアしたい、誰か見つけてくれないかという淡い願いの下、自分の生きた証として何らかの形で(発見されようがされまいが)後世に残すのかもしれない。 「夢の国」は何処か遠い場所にあるのでは無く、又実際の場所でも無く、私達の直ぐ近くに存在しているのかもしれない。 現実や未来は自分が思う程悪くは無く、自分の見解やどう決断し行動するかにもよるが、希望溢れる明るいものと教えてくれる物語。
13152	二月うさぎのお茶会	「ことり」小川洋子	孤独を抱えている人へ	昨年九月に義父が身罷り、感傷に浸る間もなく手続き、家の片付け、初盆や一周忌の段取り、義母の施設探しに追われていたが、コロナの第五波も下火になりつつあり、やっとひと息つけるようになった今年の十月、小川洋子の『ことり』を読む機会を与えられた。 そのタイトルからもっとメルヘンな内容を想像していたが、「小鳥の小父さん」を巡る予想もつかない展開に一気に引き込まれた。 やはり小川洋子は天才である。第一回本屋大賞に輝いた『博士の愛した数式』も衝撃的な作品だったが、これは小説の神様に愛されたからこそ生れた物語だと思い知らされた。 小鳥の小父さんは親を失い、兄を失い、おそらく初めての恋も失い、仕事を失い、そして居場所を失った先に、自分の死が訪れる。 生きるとか死ぬとか小鳥の小父さんとか。 とある小説のフレーズから拝借したが、人の一生において真摯に向き合わなければならないのはこの二つだと教わった一冊である。
14032	パラダイス	「聖書 新世界訳 マタイによる福音書 日本語訳」	人間関係やストレスに悩んだり、その点で生活の向上を願う人	この本は、どうしたら人とうまくやっていけるのか、またストレスの対処法など生活に役立つアドバイスが載っています。例えばストレスの対処法について「次の日のことを決めて心配してはなりません。次の日は次の日で心配することがあります」。毎日の生活には心配事は付き物です。明日の心配事まで考えないようにしましょう。一日一日を生きましょう。ストレスは不安への原因になります。どうしても避けられないストレスを悩んでもストレスが増えるだけです。ただの取り越し苦労だったという場合があります。他にも「人からして欲しいと思うことは全て人にもしなければなりません。」私たちは人から敬意や親切や愛を示してもらえたら嬉しく思います。同じように自分の家族、友人、職場や近所の人に自分からそうしていけば、友好関係が向上します。いつも自分の身近な人に関心をよく払い、相手の身になって考えていくことで親切の輪が広がり、より幸せになることでしょ。う。幸福へのレシピお宝満載です。
非会員	びぼちゃん賞 えるば	「夜のある町で」荒川洋治	なかなか心に余裕がない人へ	人にはその人なりの、ものを見るまなざしがあります。 荒川さんは詩人で文筆家。本書は77篇から成るエッセイ集です。 明るくひらけた言葉で描くのは、会議で思いがけずボールペンを貰う男性、栗を拾う女性のお尻、注文通りに受けない韓国料理屋のお姉さん、等々。 おすすめは、ただ人と話をする一日をなぞる「白い夜」。その日に向け仕事を整え、掃除をし、烏龍茶を貰う。客人の若者とひとすらすら本の話をして風呂に入り、ぐっすりと眠る。読後は不思議と満たされた気持ちに。 一般化され、簡略化されたネットの言葉で、私たちの視点は常に凝り固まっています。 荒川さんのまなざしから見ると、窮屈に縮こまった自分の世界が、まるであたたかい牛乳を注いだように、のびのびゆるんでいくのを感じるのです。 「別れた人とまだ話をしている、そんな表情の人もある」 本を読むことは、自分じゃない誰かのまなざしで世界を見ること。 読書で心をゆるめたい方、ぜひお試しください。
非会員	PIPO特別賞 活字が好きな少年	「二年間の休暇」ジュールベルヌ	仲間関係がうまくいかない人	ぼくは、今回ジュールベルヌさんが書いた二年間の休暇という本を紹介したいと思います。簡単にあらすじを説明すると船で航海していた十五人の少年たちが嵐に遭い無人島に漂流してしまいます。そこから大人がいない中無人島で過ごしていくという物語です。 そこで、僕の特にお気に入りの場面を紹介したいと思います。どんな場面かという仲間の一人が野獣におそわれた時に主人公が助けた場面です。その主人公と助けられた人はもともと仲が悪かったです。しかし助けられたその日から二人は協力し合うようになりました。この場面からは人は恩があると変わると分かるのでお気に入りの場面です。 この本は百年以上前に書かれました。ですが今でも読み終えた後に心に来るものがあります。ぜひ仲間関係がうまくいかない人に手に取ってほしいです。 以上で僕のおすすめの本の紹介を終わります。
非会員	りんご	「螺鈿迷宮」海堂尊	病気と仕事の両立に悩んでいる方 死生観について興味のある方	身近な人の死や病気をきっかけに尊厳死や安楽死のことについて考えたことがある人は少なくないと思います。難病と長い間向き合ってきた私自身よく考えていた時期がありました。そんな時出会ったのがこの本でした。終末期医療の現場を舞台にした医療ミステリーです。 私にとって印象深かったのは緩和ケア病棟に入院している患者さん自身が、身体の自由がきく間は院内のお手伝いをしたり他の患者さんのお世話をしたり話し相手になったりと積極的に自分の役割を得て活躍している姿でした。死を前にして卑屈になるのではなく自分の最期を見据え、それまでどう生きるのかそしてどう最期を迎えるのか、そこまで自分で選択できるシステム作りもこれからもっともっと必要なのではないかと思いました。死について考えることは一緒に生について考えること。とても難しい問題ではありますが、タブーなことではないしもっともっとオープンに明るく議論していくことも大事だと考えさせられた一冊です。

会員番号	ペンネーム	①本の題名	②どんな人に	③おすすめポイント
非会員	よつば	「朝が来る」辻村深月	親子関係に悩んでいる人	登場人物の心の機微を繊細に描いた心理描写が秀逸。 先が見えない不妊治療、無精子症と診断された夫や家族の思い、望まない妊娠、育てる事が出来ない女性達、初めは特別養子縁組がテーマだと思いきや子を求める栗原夫婦に感情移入し読み進めて行った。 しかし、その陰で自分の思いとは裏腹に、谷底に落ちて行く朝斗の生みの母であるひかりにどんどん気持ちを持って行かれた。 血縁がなくても強い絆で結ばれる親子がいる。 反面ひかりの様に血が繋がっていても互いを嫌悪する母娘も存在する。 最後は人としての在り方なのだ。 親子の意味を考えさせられる秀作。
非会員	びぼちゃん賞 よつば	「沖晴くんの涙を殺して」額賀滯	生き辛さを感じている人	沁みた。 息苦しい毎日を過ごしている今この本に出逢えた事に感謝。 北の大津波で家族を喪い17歳になった沖晴は震災で「悲しみ」「怒り」「嫌悪」「恐れ」の感情を失ってしまう。 フィクションとはいえ実際の災害がモチーフとなっている事で沖晴の心の奥底にある悲しみが胸に迫り「花は咲く」のメロディが脳内でリピートされていた。 余命僅かの音楽教師・京香との出会い。 その必然とも思える出逢いによって変化して行く沖晴を応援し続けた。 物語終盤は涙が止まらない。 自分の人生に関わった人達の顔を思い浮かべながらちゃんと生きていこうと思える。
5538	ぎんのすけ	「白鳥とコウモリ」東野圭吾	愛知県民でかつ推理小説の好きな人	東京で起きた弁護士殺人事件。それには30年前に起きた愛知県岡崎市で起きた殺人事件がかかわっていました。 容疑者は本当に事実をかたっているのか？果たして犯人なのか？ 自供を納得いかない被害者の娘と加害者の息子が事件の真相を調べていき、行きついた先にあったのは。なんとなく想像はついていましたが、結末までは予想がつかなかったです。 想像をはるかに超えています。 登場人物の立場が一転二転とかわり、最後まで飽きさせない内容で長編にもかかわらず一気に読んでしまいました。 タイトルの意味は途中で何となく出てくるのですが私は、オセロゲームを連想しました。ゲームが進むたび白が黒になったり黒が白になったりと真実に近づいていくたびにそれぞれの立場が白になったり黒になったりします。まさに白鳥とコウモリです。 愛知県の地名やあの会社のことかなとかあの事件のことかな？と思いを馳せるようなこともあり、重厚な推理小説ですが楽しんで読むことができました。 東野圭吾の小説はよく読みますが、この小説はかなりおすすめです。
非会員	よつば	「六人の嘘つきな大学生」浅倉秋成	どんでん返しミステリーが好きな人	素晴らしく面白い。 作者の手のひらの上で転がされながら、どんどん景色が変化して行く。 心を抉られ、解放され、最後まで翻弄され続ける。 成長著しいIT企業「スピラリンクス」 最終選考に残った就活生に与えられた課題は「1人の内定者を6人で決める事」 この残酷な状況下で発見された6通の封筒に記されていたのは各々の罪。 次々と明かされる罪はバンドラの箱を開けるかの様で不穏極まりない。 終始、好奇心を刺激され、物語は予想だにしない結末へ着地する。 理不尽な社会へのメッセージ性と、一面だけで他人を判断する事の傲慢さと愚かさを感じた。
非会員	ひとみ	「半島を出よ」村上龍	ハラハラドキドキが好きな方	村上龍さんと言えば、愛読されている方も大勢いらっしゃると思いますが、あえて少し前の作品にはなりますが、「半島を出よ」をおすすめします。 この物語はフィクションですが、現在の日本に起こっても不思議ではない内容で、もしもこんなことが起これば、本当に日本は一気に日本ではなくなるだろうと思われる怖い作品です。 内容としては、財政破綻し、他国から見放された日本に北朝鮮軍が金正日の「反乱軍」と見せかけ、当初9人のコマンドを九州に工作船で送り込みます。日本の占領を企みますが、いわゆる半端者だったり、オタクだったり、不良と言われるのけ者のような者達の集団が、右往左往しているだけで何もできない国家に代わって、北朝鮮軍をやっつけてしまう物語です。 読み終わっても『心に残る』と言うより『心にひっかかる』という物語です。ハラハラドキドキしたい方は、ぜひ読んでみて下さい。考えさせられる所も多い作品だと思います。
非会員	メイプル	「名もなき毒」宮部みゆき	ミステリー好きはもちろん、ヒューマンドラマを楽しみたい人におススメです。	この作品は先ずテレビドラマで出会い、ぜひ原作を読みたいと思い、本を購読した。そして、この作品をきっかけに宮部みゆきワールドのとりこになった。 主人公の杉村三郎は少し気弱で心優しく誠実な人間だ。その優しさは悪意のかたまりを抱いた原田（げんだ）いづみには全く通じず、彼はさまざまなトラブルに巻きこまれてしまう。嘘言癖、クレイマーなどの言葉では形容できない程の負のマグマが彼女の中で煮えたぎり、人々を攻撃し苦しめ傷つけていくストーリー展開は圧巻だ。結句、彼女の悪意の原因は推測の域にとどまり解明されず読後感はすっきりしない。しかしこの得体の知れない恐ろしさは、昨今のSNSなどでの執拗な攻撃と似ていて、絶対に放置してはいけないうのだと思わずにはいられない。 杉村三郎シリーズは第五作まであり、彼の人生の大きな変化が描かれていて、この作品と合わせておすすめしたい。
非会員	よつば	「虎を追う」櫛木理宇	ミステリー好きな人	終始、息苦しく、胸のざわつきを抑えられないまま、貪る様に一気に読み。 30年前に起きた『北葦辺郡連続幼女殺人事件』 犯人は逮捕され死刑判決まで下っていたが、判決に疑問を抱いていた元栃木県警捜査一課、星野誠司は孫である大学生の旭とその友人・哲と共に真相解明に繰り出す。 『虎』を名乗る真犯人の正体と冤罪の真相が知りたくて私も『虎』を追いつけた。 実際に起きた宮崎勤事件やオウムなどの単語を引用する事で、嫌でもあの時の凄惨な状況が浮かび、物語をリアルな物にしていた。 犯罪者の心理、承認欲求などの描写も秀逸。 櫛木作品の集大成。

ミステリー好きな方へ

みなさんへ

会員番号	ペンネーム	①本の題名	②どんな人に	③おすすめポイント
非会員	よつば	「日没」桐野夏生	恐怖を味わいたい人	凄まじい恐怖を感じた。 「文化文芸倫理向上委員会」を名乗る政府組織から届いた召喚状に従い、断崖に建つ海辺の療養所へと収容された小説家・マッツ夢井。 そこで待っていたのは地獄の様な日々。 『表現の自由』を奪われ、人を人とも思わない扱い、同じ言語を使っているとは思えない噛み合わない会話、暴力と拘束。 この理不尽な物語にどんどん怒りが込み上げるが、それと同時に人が破壊されて行く恐ろしさに震えが来る。 主人公の不安、怒り、悲しみ、苦しみ、猜疑心、全ての感情に共感出来る。 緊迫感が最高潮に達するラスト10頁は圧巻。 凄い作品だ。
5652	大口ひろし	「私は真実が知りたい」赤木雅子、相澤冬樹	日本のすべての国民	森友事件では公文書改ざんを指示された職員が自殺に追い込まれ、指示をした上司は責任を問われるどころか栄転をしている。こんな世の中であってはならない。この本は夫を理不尽に失った妻が国などを提訴、夫の遺書の公開に至るまでの怒り、迷い、葛藤をつづった手記と事件を発覚当初から追いつけてきたジャーナリストによるドキュメントである。この事件をめぐる当時の安倍政権の国会での虚偽答弁は聞くに堪えない。夫の手記が公開されても再調査を拒む現政権も問題から逃げている。改ざんはだれがどのような目的で指示したのか、真実を私たちも知りたい。
5652	大口ひろし	「自分を変える読書術」堀紘一	どんな本を読んだらいいか悩んでいる人	ドリームインキュベータ会長堀紘一が自身の読書術を披露。学歴より読書で「学習歴」を作れ。さまざまな本を読むことで目標を達成し、自己実現してきた著者が、本を武器に学歴さえ凌駕してしまう戦略的な読書術の真髄を解き明かす。若いビジネスマンや起業家におススメの本である。ついでに私の読書観も述べさせていだきたい。人間には他人に相談してもどうにもならない苦しみがある。読書はその苦しみを和らげてくれる。本はうそをついたり、人を裏切ったりしない。よき友だちである。
8134	さくら散歩	「好きなようにやればいい。」佐藤愛子（ポプラ社）		サブタイトルの「役に立たない人生相談」に惹かれる。 読んで分かるが、相談事に対してストレートな回答は殆ど無く、「こんな相談をする事自体が問題だ」とか「何を褒げたことを言ってるの!」とか「人を変えるなんて無理です。あなたと一緒に楽しむしかない」という回答はあまり役に立たない。 でも回答の根底にある『悩める人の悩みを解決するよりも、悩みを吹き飛ばす"元気を与える"回答』という暖かさが役に立つ
8225	あきちゃん	「ねじまき鳥クロニクル」村上春樹		「すべてのものごとは複雑であると同時にとても簡単なのです。 複雑に見えるものごとも、もちろんそれは実際に複雑であるわけなのですが、その動機においては極めて単純なのです。 それが何を求めているか、それだけのことです。 (中略) 人々は永遠にその見かけの複雑さから抜け出すことができません。彼らが途方にくれているのは、ものごとの原則というものを理解しないからです。」 上記は村上春樹の「ねじまき鳥クロニクル」の一節です。 コロナ禍で多くの人が混乱するなか、思い出しました。 少なくとも自分は、右往左往することなく最初からぶれずにいることができたと思います。 冷静に考えればわかることなのに、思考停止の人はお上の言うことを鵜呑みにしがちです。 ここにきてようやく気付き始める人も出てきましたが、少し前まで、戦時中の大本営の発表を真に受ける国民そのままでした。 私がぶれずにいれたのは、冒頭の引用文が影響していることはまちがいないです。 同時期に、「海辺のカフカ」「騎士団長殺し」も読んでおり、それらがごっちゃになって正直あらずじは覚えていないし、誰の発言だったかとも思い出せません。 けれど、この一節は私の心に突き刺さり、読了から数年たった今も忘れることはありません。 むしろ生きていくうえでの指針となっています。 村上春樹氏もこのメッセージを伝えるために、壮大なストーリーを練り上げたのではないのかなぁと勝手に思い込んでいます。 何が正しくて正しくないか、見極めるのが難しい昨今ですが、作品を通してヒントを与えてくれているように思います。それをキャッチできるかどうかは読者にかかっているわけですが。
9112	ハートいっぱい	聖書	全ての人	聖書は唯一人間ではなく、神様が人間に書かせた本とされています。地球、人間の始まりから将来起きる事まで書かれています。なぜ人は死ぬのか？将来どうなるのか？人が疑問に思う事の答えが見つかると思います。一度は読んで頂きたいです。ノンフィクションです。
9496	匿名	「少年と犬」馳星周		人間と犬の絆 感動の物語 本屋で"今月のオススメ本"というポップアップを見て読んだ本。 元々猫派の私は犬にはあまり興味が無いがオススメというので読んでみた。 内容は「100万回死んだ猫」の絵本に少し似ていて、徒然で飼主が替わるが猫のようにツンデレでは無く、別の飼主に代わっても忠誠を尽す犬。流石「man kind」と言われる位犬は人間に近い。 6部構成になっていて最後の六回目に少年との関係が明らかになる。 其処にたどり着くまでに犬は様々な人に出会い、その時一番助けが必要な人とお互い助け合いながら目的地を目指す。 岩手県から熊本県と超長旅を少年に会う為に向かう一途な姿、そして徒然の飼い主達に最後まで忠実に尽くす姿は読んでいて感動と純真さを心に残してくれる。 神様は助けが必要な人を決して見捨てず、助け舟を必ず送ってくれると確信させてくれる物語。 是非多くの方に手に取って頂きたい。
13210	シーズー犬	「ヴァラエティ」 奥田英朗		『バラエティ』の題名通り、色々な味の7篇の短編が収まっています。奥田英朗らしき満開の「空中ブランコ」のハチャメチャなおかしさは、「ドライブ・イン・サマー」に健在です。おっとり妻の運転するベンツに、次々と乗り込んでくる得体のしれない輩にイライラ満杯な夫が行きつく先は？ そして、私的に一番面白かったのは、脱サラストーリーの「おれは社長だ!」です。 いやあ、思い立って会社員が起業するって、スリル満点でしょ。言い伝えの“当てと禪は、前から外れる。の通り、独立後の彼が当てにしていた以前の取引先は冷たいのよ。資金繰りの苦労の中、腹を据えて社長業に取り組んでいく姿に、思わず「頑張れ!」と応援してしまいます。 そして、お芝居の幕間のように挟み込まれた伊ッセー尾形さんと山田太一さんの対談収録。 これがまた、それぞれが何とも良い味を出していて、おまけのようでお得感があります。是非是非、お薦めします。
13210	シーズー犬	「とにもかくにもごはん」小野寺史宜		「子ども食堂」とは、様々な理由で居場所や食事が得られない子供たちに、温かい食事を提供する場所です。 松井さんは夫とうまくいかなくなって悩むのですが、なかなか修復ができないでいる。ふとしたことから、夫が夜更けの公園で母親の虐待により一人ぼっちの男の子としばらく過ごしていることを知り、なぜかその男の子のことが深く心に残る。しかし、その後夫はすぐに事故死してしまう。残された息子と二人暮らしをするうち、夫の話が忘れられず子ども食堂を始めた松井さん。しかし、密かに待つも虐待児童は子ども食堂にやって来ない。親の帰りが遅くて食堂に来るようになった女の子とその子をお迎えに来る異母兄妹の優しいお兄さん、すくすく育って児童相手に手伝ってくれる松井さんの息子、お手伝いの主婦やボランティアの学生、食堂に来るその他の子供達の其々の事情が上手く語られる。実は、その異母兄が・・・感動のラストには胸が熱くなるはずだ。
13456	ノラネコぐんだん大好き	「ノラネコぐんだんそらをとぶ」工藤ノリコ	大人から子供まで。 子供用の絵本だが大人も楽しめます	無表情の猫軍団が勝手に飛行機を運転して無人島で過ごして、最後は、怒られ働かされるというお話。無人島での生活、無人島で生活に飽きてなんとか無事に帰って来ってしまう凄さ、アイデア感満載。クスッと笑ってしまう。とても細かく描かれていて、何度も読みたくなります。 ノラネコぐんだんシリーズは、他にもあり全部が本当に楽しいです。 私のおススメ本でした！

会員番号	ペンネーム	①本の題名	②どんな人に	③おすすめポイント
非会員	Refrections plus	「どكتورマンボウ航海記」北杜夫（新潮文庫）	小学生から高齢者まで、自分の想像世界をわくわくひろげたい人へ	小学校4年の時に姉が買ってくれた初めての文庫本でした。著者は、父が歌人の斎藤茂吉ですが杜夫は昆虫大好き作家であり精神科医であり躁鬱症を理由に楽な道を楽しく生きたオモシロ作家です。この本を読む前に「ドリトル先生シリーズ」（ヒュー・ロフティング著）を読んでいたので医者見習いが船医になって世界を回るといふゆるい冒険的ストーリーに面白そうと思ったのかもしれませんが。夢中になって読んだ小学校時代以降、今まで、数年ごとに落ち込むことがあった時にこの本を読むと、場面場面が全て目の前に見えるような描写に、しかもユーモラスにあふれたストーリーに絶対わくわくして世の中何とでもなさという気分にさせてくれました。どكتورマンボウシリーズの中でこれがダントツベストです。急いでいるときは目次を見ただけで気分を高めてくれる私にとって貴重な作品です。
非会員	匿名	「空を見上げて大切なことに気づく100の言葉」宮永千恵	身体がつかれている人・心が疲れている人・元気な人 いろいろな人に！！	この本は、三・四年前にガンを患っている知人から、どういう理由なのか私がプレゼントされた一冊です。その時は、理由もわからないまま、少し重いなと思いながら中を開くと、それはそれは、美しい写真の数々。理由を考える間もなく、ただ感動したのを思い出します。その後、そのページに添えられた名言に再び心が引かれ、感動し、共感したものでした。特にに有名な小説でも文学作品でもないのですが、このコロナ禍、しばらく本棚に眠っていたこの本をふと思い出し、開いてみました。以前とは異った感動がよみがえった気がします。この感動を誰かと共感したいと思っていた時、ピーボの記事があり是非と思い紹介しました。おススメポイントは全てです。
非会員	Yukachi	聖書	だれにとってもためになります。幸せになりたい人、アイデンティティーを確立したい人、周りに左右されない信念を持ちたい人、内面を見つめて磨きたい人…に特におススメ。	世界のベストセラーである聖書は、約50億冊発行されてきました。毎週百万冊配布されています。心を磨くのに役立つ本として評価されていて、今の時代に失いたくない価値観が見つかります。漫画のような面白さとは違いますが、今の自分と将来の自分に活力を与えてくれる本。こんな一節があります。「聖書の言葉は私の足元を照らすランプ、私の進む道を照らす光」真っ暗闇でランプの明かり（懐中電灯やスマホのライト）で足元を照らせば、つまずいたりぶつかったりせず、安心して歩けます。聖書は人生を明るく照らしてくれる光のよう。仕事や人間関係で上手くいかない時や何かを決める時に、役立つヒントが見つかります。そのおかげで余計な問題を避け、良い判断や決定ができます。夜道では足元だけでなく、街灯で先も見えていれば、なお安心。現地点だけでなく、聖書は進む道、つまり将来をも照らしてくれる光のよう。暗いことが多いこの時代に、確かな希望が必要ですね。先が見えないと、良いことが待っているのでは、どちらが頑張れるでしょう。聖書を読むと、将来は明るいことが分かります。それで、心が折れそうになることがあっても、前向きに対処する力をもらえるんです。
非会員	マミー	「同級生」東野圭吾	悩みのある方、ない方、老若男女、皆様	ある日、高校三年生の西原荘一の同級生の宮前由希子が交通事故死しました。西原荘一は、宮前由希子のお腹の子の父親だと周囲に告白し、事故の真相を探る物語です。主人公の西原さんは、同級生の死にあたり、生まれつき重い病気を患っている妹の看病をしたり、つらいことがたくさんありました。が、それでもめげずに前向きに頑張る姿に心打たれました。西原さんと関わる家族や同級生や先生など、周りの人達の生き様や行動や態度に、すごく感動いたしました。人との関わりの中で、相手を思いやる心は、素敵ですし、その心を忘れてはいけないと改めて思いました。この本は、読み終わった後に、心の奥がホッと温まる作品です。皆さんも人の心の温かみに触れてみませんか。まだ読んでない方は、是非読んでみて下さい。東野圭吾さん、最高におススメです！！
非会員	びぼちゃん賞 ひろし	「真珠湾攻撃捕虜第一号『酒巻和男の手記』」 酒巻和男	戦争を知らないすべての人たちへ	太平洋戦争後の日本も小中学校では教員不足の状況になっていて、私のような二十歳代の者でも中学校の教壇に立つことができました。そんなときに担任した学級に元気のよい男子が居り、コンコロ下駄（男子用の厚手の高下駄）で登校してきたことがありましたので「その音がやかましいのでいい加減にしろ」と注意したところ「この音がいいんですよ」という反応がありました。そのような子も還暦を超え、某新聞に表題にある本の紹介をしているのを目にしました。そのときに、その子の親が真珠湾攻撃に参加した兵士の一人であったことを思い出したのです。最近の世界情勢を見るとき、絶え間なく大小の争いが報じられています。このようなときにこそ、表記の本から学ぶことが多いと思います。年令を問わず、日本人はもう少し戦争のことを考えるべきだと思います。日本もコロナ問題で苦しんでいます、人との在り方や思いやりについても考えるべきときでしょう。
非会員	ツーチブタ	「お天道様は見てる 尾畠春夫のことば」白石あづさ		大分県の日出市は山の谷間にあり、雨上がりはキリが出やすい市でもある。高速道路で少し南に行くと、佐伯市があり、私が生まれ育った故郷です。インターを出ると山と海にかこまれたとても空気のおいしく、自然いっぱいの田舎でもあります。テレビで「スーパーボランティア」尾畠春夫さんを見て、故郷の近くでもあり、どんな人だろうと思い読みました。81才、魚と山をこよなく愛し、生まれ育った由布岳山頂で、大パノラマで大きく息を吸い、別府湾を望み、いやな事を忘れ、「明日もガンバルゾー」と思う。ただ登山するだけでなく、登山道の整理、ゴミを拾い、それで終りではない。「次にまた登山しよう」と思う気持ち、少しずつ重なり、ボランティアにつながったと言う。笑顔の裏側にとても苦労して育ち、本を65才〜80才の方が読むと、「ウン、ウンそうだな」と思い、話した言葉を大分弁で書いているのがなつかしい！マムシを素手でつかみ内臓取り出し、皮をはいて、干して食べるんよ。（大分弁）と言う。この話を聞いただけでも、どんな人か？年金の知らせの葉書がまちがえて届いてもおこる事はない。コロナ禍の今日、お金も学歴も関係無い。一生懸命生きる。ボロ着を着ても生き残り！そうだなと思いました。白石あづささん、大分県はいい所でしょ。結婚する前に由布岳登山どうでしょう。もちろん彼と一緒に！